（別紙4（2））

事業所名 グループホーム ゆたか

目標達成計画

作成日： 平成27年11月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取り介護を開始したばかりで、職員の中でターミナルケアにかかわることへの不安がある（ターミナルケアについての研修は一度行っている。）	ターミナルケアを十分に理解し、介護者は不安なく介護を支援することができる。	ターミナルケアとはどんなものかを学ぶ場を設ける。研修への参加→学びを職員全員で共有する。	6ヶ月
2	33	家族に対しての十分な説明・ターミナル期をどう迎えるかの選択ができるように情報提供できているのか。そのうえで家族の心のケアができているか。→行政より指導を受ける。	ターミナル期における的確な情報を家族に提供することができる。家族とのコミニュケーションを密に取り、安心して家族の死を受け入れられるように支援することができる。	適切な時期に医師、看護師、買いg氏、家族での話し合いの場を設けていく。	12ヶ月
3	33	ターミナル期の経口摂取についての理解がスタッフ間で統一されていない。→誤嚥性肺炎を助長させてしまった。	ターミナル期における経口摂取のありかたを理解し適切な助言ができる。	看取り計画を職員一同が共有し、短いスパンでのアセスメントと計画修正していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。